

授業科目名・形態	災害看護学	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	小玉光子・成田亜紀子	開講期	4年前期	単位数 1

【授業の主題】

突如発生する災害は人々の生活や健康に甚大な影響を及ぼす。災害看護学では、「災害直後から支援できる看護の基礎知識について理解すること」の条項にそって、知識と演習を通して、災害サイクル各期で看護職が果たす役割を学習する。

【到達目標】

1. 災害看護に関する基本的な知識について理解できる。
2. 災害が人々の生活や健康に及ぼす影響について理解できる。
3. 災害サイクル各期に応じた看護の役割が理解できる。
4. 災害急性期の被災者のトリアージを修得できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 災害医療の観点からみた東日本大震災の特徴（小玉）
- 第2回 災害とは何か、災害看護の概要と災害医療の基本（小玉）
- 第3回 急性期の災害医療・災害看護活動（成田）
- 第4回 急性期の災害看護活動 演習①（成田）
- 第5回 急性期の災害看護活動 演習②（成田）
- 第6回 災害への対応体制・国際貢献（小玉）
- 第7回 亜急性期以後の災害医療・災害看護活動（小玉）
- 第8回 災害時の心のケア（小玉）

【授業実施方法】

講義形式および演習

【授業準備】

予め教科書の該当部分に十分目を通すこと。関連する科目も真剣に授業を受けること。

【主な関連する科目】

救急医療と看護、看護倫理、基礎看護学、成人看護学、小児看護学、老年看護学、在宅看護学、精神看護学、カウンセリング、看護コミュニケーション、公衆衛生学、感染と免疫、国際看護活動論

【教科書等】

新体系看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学 第2版 メヂカルフレンド社

【参考文献】

系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③ 医学書院
酒井明子・菊池志津子：災害看護 改訂第2版 南江堂

【成績評価方法】

レポート（95%）、受講態度（5%）等を総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

常日頃から災害に関する情報に関心と問題意識を持ち、新聞やニュース等から積極的に情報を得るようにしましょう。